



## 食鳥処理場への鶏の計画的な出荷について

食鳥処理場への鶏の計画出荷については、農林水産省からの周知依頼を受け、これまで2度にわたり日鶏協ニュース等を通じて、会員の皆様方へご協力を依頼したところ です。

こうした中、昨今の鶏卵価格の低迷により、今後、養鶏業者からの成鶏の出荷が増加することが見込まれていることから、農林水産省生産局畜産部畜産振興課長及び食肉鶏卵課長連名にて、今年度3回目となる「食鳥処理場への鶏の計画的な出荷について」が発出され、下記のとおり地方農政局等を通じて管内の都道府県に対して食鳥処理場への鶏の計画的な出荷について養鶏業者等関係者への周知を依頼した旨のお知らせと併せ、本会会員への周知依頼がありましたので、下記の通知に留意しつつ、引き続き食鳥処理場への鶏の計画的な出荷をお願いします。

### 食鳥処理場への鶏の計画的な出荷について

標記の件につき、平成30年3月26日付け29生畜第1114号及び平成30年11月15日付け事務連絡において、貴管内の都道府県に対する養鶏業者等関係者への周知依頼をお願いしたところ です。

昨今の鶏卵価格の低迷により、今後、養鶏業者からの成鶏の出荷が増加することが見込まれていることから、仮に、食鳥処理場への出荷が過度に集中し、食鳥処理業者等において、輸送の過密化や食鳥処理場での保管の長時間化を余儀なくされた場合、関係法令等に定める保管基準等の適切な遵守に支障を来すことが懸念されます。

また、先般、厚生労働省が実施した食鳥処理業者に対する調査において、一部の食鳥処理業者から、養鶏業者に出荷を依頼している立場であるため、計画的な出荷の協力依頼が困難である旨の回答もあったところ です。

については、貴管内の都道府県に対し、食鳥処理場への出荷に当たっては、養鶏業者と食鳥処理業者が調整の上、関係法令等に留意しつつ、計画的に出荷するとともに、養鶏業者は、食鳥処理場から計画的な出荷を求められた場合は積極的に協力すべき旨、改めて養鶏業者等関係者への周知依頼をお願いします。



## OIEの採卵鶏のアニマルウェルフェア条項に関する要望書 署名提出について

集まった署名リスト1,200件、  
趣旨にご賛同いただいた方々にお礼申し上げます。

前月の2月号で、今年1月16日の緊急理事会で会則案が承認され、日本養鶏協会と国際養鶏協議会合同のAW対策協議会が、正式に発足の運びとなったことをお伝えしました。

OIE（国際獣疫事務局）が公表した「巣箱」や「止まり木」が必須となる採卵鶏のAW条項の修正2次案ではなく、日本の気候風土や生産システムを踏まえた、いわば日本型アニマルウェルフェアの策定を求めて、昨年12月20日に農林水産省に要望書を提出しました。その際に西川公也日本養鶏協会顧問から、生産者等を対象にした署名活動遂行のご指導がありました。

これを受けて、12月27日に書面理事会で署名活動の是非を問うたところ、全理事一致で承認を受け、AW対策協議会は、昨年末から全会員等を対象にした署名活動を全国展開しました。

今回、日本養鶏協会会員、各地域の養鶏協会、そのほか日本型アニマルウェルフェア策定に賛同される生産者をはじめとした多くの方々のご協力の下、当初の目標の千署名を超える、1,200件の署名を集めることができました。



今後は皆様の思いを、農林水産省はじめ政策決定者に伝える仕事が残っています。今回はそうした様子をお伝えできればと考えています。本当にありがとうございました。



## 日鶏協ニュースのアンケート調査結果について

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。この度の調査に関しまして140名の皆様から回答を得ることができました。以下に調査結果の概要をお知らせいたします。

### 1. 読む頻度について

毎月読む、が93、気が付いた時に読む、が39で合わせて132。ほとんどの方が日鶏協ニュースを読まれている結果でした。

### 2. 分量（枚数）について

1～5ページ、が102、6～10ページ、が38で、ほとんどの方が5ページ以内を適当と考えられている結果でした。

### 3. 発刊回数について

現行の月1回で適正だ、が117、2か月に1回でいい、が14、季刊にすればいい、が4で、発刊回数に関しては現状維持の回答が大多数でした。

### 4. 日鶏協ニュースと速報、回覧板との関連について

それぞれ別の情報なので日鶏協ニュースは必要、が80でしたが、一方で速報、回覧板の情報で十分、も39もあり、今後記事内容が重複しないようにする等の必要性を感じました。

### 5. 特に興味がある記事は？

いろんな価格関係の情報(91)、各種事業のお知らせ(64)、鳥インフル等突発事案への対応(73)、各種統計(58)、イベントの開催情報(34)でした。

### 6. 今後希望する記事は？

各種の価格動向(79)、行政からのお知らせ（事業参加案内等）(67)、家畜衛生(39)、アニマルウェルフェア(63)、参考統計(39)、いろんなトピックス(44)、海外事情(38)、その他(5)で、やはり、価格と事業関係は人気がある結果でした。家畜衛生や参考統計が思いのほか伸びず、逆にアニマルウェルフェアの希望が伸びた結果となりました。

### 7. 今後希望する具体的な記事内容やご意見など

- 成鶏更新・空舎延長事業や畜産クラスター事業に参加した生産者の、その後の経営内容等を含めた事業実施の結果報告を事例として紹介する。
- 成鶏更新・空舎延長事業を実施した後の養鶏業全体にわたる分析結果（飼養羽数や卵価等）。
- 鶏卵に関する消費税について、また鶏卵に関する新刊紹介。
- 日本養鶏協会のビビッドな活動内容。
- 情報は絞って簡潔に記載し、全体にボリュームを絞ったらいいと思う。等・・・

この結果を踏まえ、今後の編集の参考にしたいと考えております。

ご協力ありがとうございました。



## 協会活動報告

[青字下線部クリックで、\(一社\)日本養鶏協会ホームページ内  
該当事業のページが開きます](#)

### (1) 鶏卵生産者経営安定対策事業

#### ① 価格差補填事業の事業参加者との契約数量 (トン/月当たり)

平成27年度	161,936
平成28年度	164,846
平成29年度	162,353
平成30年度	169,171

#### ② 2月の標準取引価格 146.08 円/Kg

平成30年度安定基準価格 163 円/Kg

平成30年度補填基準価格 185 円/Kg

## 知っていますか? たまごの信頼と安心の証 公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン【第2弾】

鶏卵公正取引協議会(事務局：  
(一社)日本養鶏協会内)では、消費者のみなさまに安心して、たまごを選んでいただくための根拠となるたまごの公正マークを推奨しており、その活動の一環

として、公正マークへの理解を深め、安心・安全なたまご料理を楽しんでもらうために公正マーク付きたまごの当たるプレゼントキャンペーンを実施しており、今回第2弾になります。



応募期間：2019年2月27日(水)～3月26日(火)

賞品：卵1ヶ月分(30個) 50名様

応募方法：応募フォームから、クイズの回答・住所・氏名などの必要事項を入力してご応募ください。

<鶏卵公正取引協議会 プレゼントキャンペーンページ>

<https://www.jpa.or.jp/promotion/>





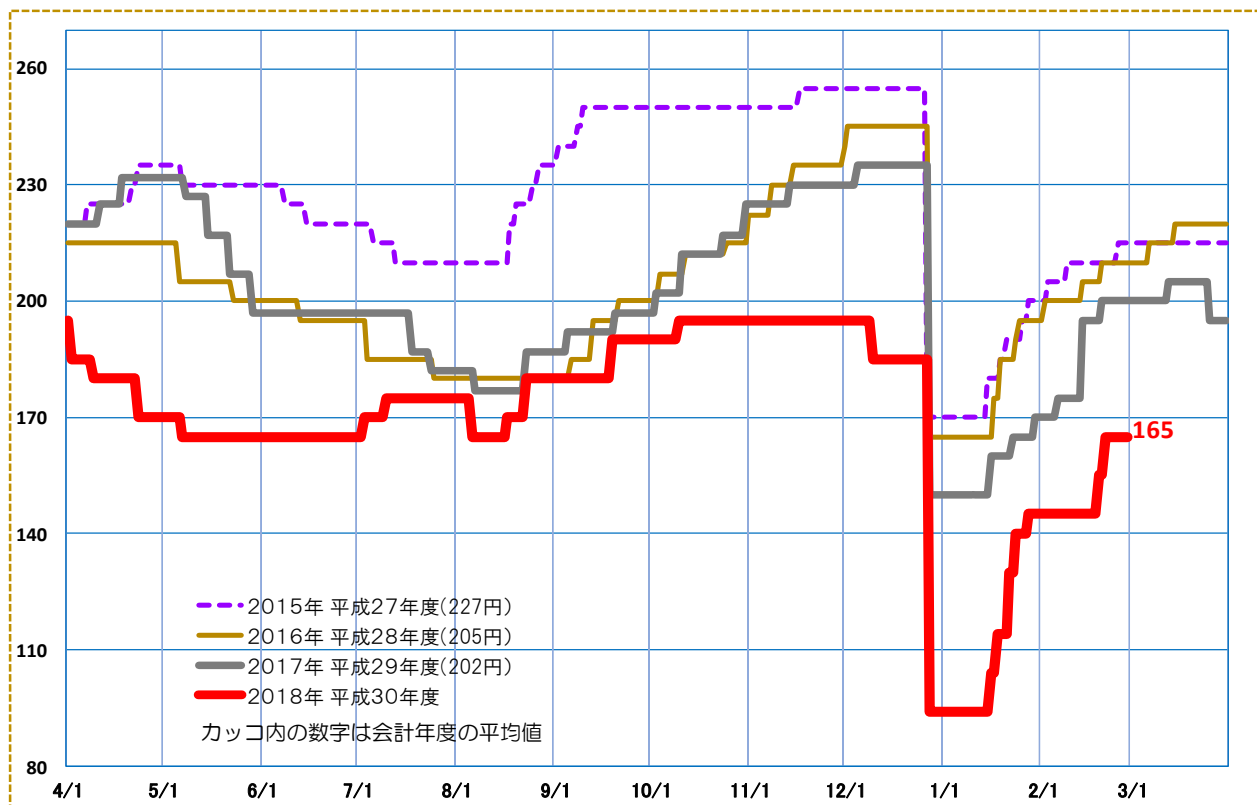
## 統計データ

【相場動向】 過去10年間の2月相場<Mサイズ>

	平均値	高値	安値
平成22年	194	213	179
平成23年	203	223	189
平成24年	185	203	179
平成25年	190	208	184
平成26年	240	258	234
平成27年	209	233	199
平成28年	209	233	194
平成29年	204	228	184
平成30年	189	218	164
平成31年	152	183	139
平均値	198	220	185

平成31年2月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は、平均値（152円）、高値（183円）、安値（139円）ともに、過去10年間で最も安い相場となっており、特に過去10年間平均と比べ平均値は2割強、安値は約2.5割安い相場となっています。

【鶏卵相場推移 2015年～2018年 会計年度 東京全農Mサイズ 円/ Kg】



月初145円で横ばい状態が続きましたが、その後、卵価は上昇に転じ、月末には165円まで戻したものの、前年に比べ35円安い相場となった。



## 【鶏卵関係主要計数】平成30年12月までの1年間の主要計数推移

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
	数量(千羽)	前年比	成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
			数量(千ト)	前年比	数量(グラム)	前年比	前年	本年
30年 1月	9,387	101.2%	477	103.9%	889	104.6%	179	159
2月	9,034	109.1%	461	102.7%	862	102.2%	204	189
3月	9,940	102.0%	522	101.7%	896	102.3%	217	201
4月	9,503	104.3%	477	101.8%	885	97.6%	227	179
5月	10,035	111.1%	503	101.2%	965	108.4%	216	165
6月	9,193	94.2%	482	101.6%	908	107.7%	197	165
7月	9,902	111.4%	446	98.0%	844	97.4%	191	173
8月	8,723	104.6%	488	99.9%	853	100.5%	182	172
9月	8,897	98.7%	451	97.2%	882	102.8%	194	184
10月	9,972	108.1%	508	104.2%	913	100.4%	211	194
11月	9,690	101.8%	502	101.6%	901	100.2%	228	195
12月	8,709	95.9%	533	99.6%	934	99.8%	234	188
1年間合計 平均(%)	112,985	103.5%	5,850	101.1%	10,732	102.0%	207(平均)	180(平均)

注：雛餌付羽数は全国推定値

- ・雛餌付羽数は、8,709千羽（前年比95.9%）と3ヵ月ぶりに前年を下回りましたが、年間では前年比3.5%上回って推移しています。
- ・配合飼料出荷量は、533千トン（前年比99.6%）と3ヵ月ぶりに前年を下回りましたが、年間では前年比1.1%上回って推移しています。
- ・鶏卵の家計消費量は、934グラム（前年比99.8%）と5ヵ月ぶりに前年を下回りましたが、年間では前年比2.0%増と堅調に推移しています。
- ・冬本番を迎え、家庭における鶏卵需要の増大が期待できる一方で、雛餌付羽数並びに全国的な供給量の増加が続いており、引き続き鶏卵価格の動向について注視が必要である。

【日鶏協ニュース】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2019年3月1日

編集・発行責任者：浅木 仁志 (info@jpa.or.jp)

